

# 経営層が知っておきたい グローバル市場での 動画コンテンツの価値

# 2021 Vol.01

Presented by puENtearth

- SUMALLY 1** ▶ 動画は海外展開時の販路拡大・売上向上に効果を発揮する
- SUMALLY 2** ▶ 動画は共感を得やすい。ブランディングにも欠かせない
- SUMALLY 3** ▶ 動画のメッセージは、現地市場・現地社内に浸透していく

## 1▶ コロナ後を見据え 海外進出意欲は衰えず

海外進出日本企業への負の影響が避けられない—。いま、64.8%もの海外向けビジネスを行う企業が、海外の売上高にマイナスの影響があると回答している\*。

しかし、海外進出意欲は衰えず、事業拡大する動きも強まっているという。事業拡大先は、1位中国、2位ベトナム、3位米国、4位タイ、5位台湾という順になっている。

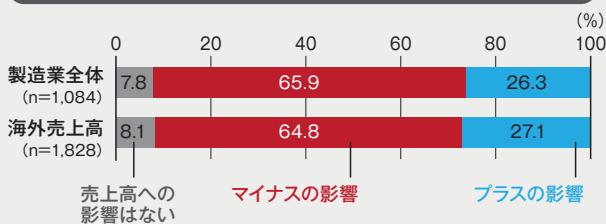
また、日本国内から海外へのEC活用（越境EC）では45.5%と年々増加している。中でも中小企業がEC利用拡大意欲は顕著になっている。この情報からも、Webの活用は企業の海外進出の先駆けとなりやすいことがわかる。さらに昨今、海外グローバル企業では、プロモーションに動画を活用することで現地ユーザーにアプローチし、販路拡大や売上向上につなげようとしている。

今後、海外展開する日本企業にとっても重要な視点ではないだろうか。

※数値の出典はいずれもジェトロ「2020年度日本企業の海外事業展開に関するアンケート調査」（2021年1月29日）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/01/540798d5e8ccdc31.html>

海外売上高への影響（規模別、業種別）



日本国内から海外への販売（越境EC）の利用状況（全体・時系列）



## 2▶ 動画の活用の幅は広く、 メリットも多い

現地にスタッフを配置するよりも早い打ち手の1つがWebサイトや動画などのコンテンツ活用である。その中でも、画像や図版、動画を活用してビジュアル面でもわかりやすく伝えることは有効だ。著名な外資系企業がブランディング動画を活用することで、自社のメッセージを端的に伝えるのを目にした方も多きことだろう。

動画はプロモーション、現地採用、社内教育など幅広く活用できる。動画のメリットには①情報量が多い、②印象に残りやすい、③スマートフォンユーザーに訴求しやすい、④SNSで拡散されやすいことなどが挙げられる。今後のビジネスにも組み込んで考えたい。



## 3▶ 海外向けサイトでも必要な 「おもてなし」の心

しかし、自社で動画をはじめとするコンテンツを活用する時に忘れてはならないのが、「現地のユーザー / スタッフ」に伝わる表現になっているのか?ということ。

日本語の感覚・表現をそのまま伝えるのではなく「現地のユーザー / スタッフ」の気持ちになって考えること。丁寧に相手に合った言葉を見直し、メッセージを準備すること。これは、国境を超えた「おもてなし」と言えるかもしれない。■

# 12ヶ国語以上の「現地の言葉」に対応！ 動画制作アドバイスから撮影、翻訳まで、一からでも部分対応でも OK！

グローバルな視点での動画コンサルティングサービス



対応言語

日本語 / 英語 / 中国語 / 広東語 / 韓国語 / インドネシア語 / ベトナム語 / タイ語 / フランス語 / イタリア語 / タガログ語 / ロシア語

## 「動画」をグローバル市場で勝ち抜くための武器にする

ブランディング、販路開拓、プロモーション、社内教育…いま、動画は幅広いシーンで活用されるようになりました。動画が普及する一方で、人々が動画に求めるクオリティは高まる一方で、顧客や従業員に寄り添っていない動画、魅力が感じられない動画の閲覧数は伸びにくい状況です。動画をこれからのビジネスに活用するための重要なポイントがあります。

プエンタース

## puENtearthは、動画を「見る人の視点」で考える。だから、価値が伝わる

puENtearth（プエンタース）は、グローバル市場に展開する企業の動画制作のアドバイスから、撮影・編集・翻訳まで、一からでも部分的にでも支援するサービスです。これまで海外展開する企業の動画制作を支援することで、ビジネス貢献してきた実績を持っています。下記ではその特長を紹介しますが、一般的な動画制作会社や AI 翻訳にはない魅力があることがわかりいただけるのではないのでしょうか。

- 「言葉」を大事に届ける —— ネイティブスピーカーやアナウンサーによる質の高いナレーションを提供  
例えば一口に「英語」といってもイングランドやスコットランド、アメリカ、オーストラリアなどで異なる言い回しや表現にも、現地に伝わる言葉に対応可能
- 価値を現地に伝える —— マルチリンガルスタッフにより、12ヶ国語以上の言語に翻訳対応可能
- 動画作成のアドバイス —— グローバル視点での動画コンサルティングが可能
- 実力ある撮影制作スタッフ —— テレビ業界で活躍する精鋭技術集団による動画作成が可能

翻訳する企業	言葉遣い	現地文化理解	翻訳の依頼方法
一般的な動画制作会社	○	△	発注側が翻訳の表現や内容詳細を準備し依頼
AI 翻訳、自動翻訳	×	×	
puENtearth	◎	◎	発注者が現地の文化・言語に詳しくなくても、最適な翻訳を提供可能

### 海外向け動画

▶ 伝わる / 伝わらない Check

- 伝えたいことを詰め込んだが、動画が本当に現地のユーザーに伝わっているか知りたい
- 動画のナレーションは適切な言葉か知りたい
- 海外向け動画はすべて英語版しかない
- 現地文化を理解した表現にしたい
- 現地語は AI 翻訳にまかせている

当てはまる  
場合にはぜひ、  
ご相談ください



詳しくはこちらから。まずはお気軽にお問い合わせください。

<https://www.pla-con.jp/video/>

提供企業

株式会社プラチナコンシェルジュ Email●info@pla-con.jp Tel●076-491-8320 〒939-8096 富山県富山市西大泉 12-5